

◆職場内家庭教育研修会◆

医療法人回精会 北津島病院

日時：平成30年7月2日（月）午後0時30分～
会場：医療法人回精会北津島病院 2F会議室
講師：目黒達哉氏（同朋大学 社会福祉学部 教授）
演題：『コミュニケーション能力を高める傾聴』



今回の職場内家庭教育研修会は、稲沢市平和町にある「医療法人回精会 北津島病院」で開催されました。

昭和50年に開院して以来、精神科専門病院として、地域に根ざした診療を行ってきました。

昨今、高齢者の増加と共に認知症の患者数が激増し、平成27年4月からは「物忘れ外来」を開設し、関連施設との連携を強化して認知症診療に力を入れてみえるそうです。

講師は、同朋大学社会福祉学部教授の目黒達哉先生で、テーマは「コミュニケーション能力を高める傾聴」でした。



熱心に聞き入る参加者のみなさん

臨床心理士でもある目黒先生は、ご自身の家庭のエピソードを交えながら、職場における人間関係などを例にして、「コミュニケーション」の難しさや「傾聴」の大切さについて講演されました。

院長の野島 逸先生をはじめ、たくさんの看護師さんや医療職の方たちがお昼の時間を利用して本研修会に参加されましたが、目黒先生の笑顔を絶やさないユーモアあふれる語り口に引き込まれていったようでした。

最後は「NHK連続テレビ小説だんだん」の挿入歌「いのちの歌」を聴きながら温かい余韻を残して講演は終わりました。



優しく語りかける目黒先生

参加された方々の感想より

- 改めて「傾聴」や「コミュニケーション」について、お話を聞いてみると、自分が曖昧にしか理解していなかったことが分かりました。相手の意思を理解しようと、自分ではしっかり聞いているつもりでも、自分の心境の影響で意識が100%ではないという新たなことを知ることができました。新鮮で、とても楽しい研修会でした。
- ただ相手の話を聞くことが傾聴という意味ではないことがよく分かりました。難しい話をおもしろく、そして楽しく聞くことができ良かったです。
- 最後まで興味深く、楽しい講義を受けさせていただくことができました。今の自分にあてはまることが多くあり、まず「受け入れる気持ち」を持ちたいと思いました。研修時間としては、もっと時間をとってほしいと思いました。
- 短い時間でしたが、楽しい講義をありがとうございました。傾聴するという事は、なかなか難しいと改めて考えさせられました。今後も相手の言っている事を正しく理解できるように、また自分の伝えたいこともしっかり伝わるように努力していきたいと思えます。